～試乗実演会を開催しました～

全農ながさきは９月８、９日、雲仙市吾妻町の県南畜産事業所でスマート農業機械試乗・実演会を開催しました。今回初めての開催で、関係メーカー１７社が７０種類の実機を持込み、生産者や関係者ら７９名（２日間合計）に参加いただき、開催に先立ち一瀬寿幸生産資材部長は「実際に見て体験することで効果を知っていただき、現在の経営に合うスマート農機を見つけてほしい」と挨拶しました。

農業従事者の減少・高齢化や労働力不足が問題視されており、農業の維持活動にも支障が出始めており、2050 年も持続可能な産地として、より多くの農地を担い、所得向上を図るべく、農作業の省力化・迅速化に取り組み、生産性を向上させ、新４Ｋ農業(快適・効率的・稼げる・かっこいい)を実践することを目的に、ラジコンやロボット、ＡＩやＩＣＴなどのスマート農業技術の導入を推進しております。

今回の実演会では、共同購入トラクターやアシストスーツ・環境負荷軽減機器を展示したほか、直進アシスト機能を搭載したトラクター・田植機や無人ロボットトラクター・田植機、農業用ドローンやラジコン草刈り機の実演が行われました。

全農ながさきは今後もスマート農業に向けた取り組みを行っていきます。

【実演風景】